

1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	→

（注）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は感染症の影響により、サービス消費を中心に持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	感染拡大の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	→
生産活動	緩やかに回復している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している	→
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	→

設備投資	2年度は増加見込み	2年度は増加見込み	→
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	→
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	→
公共事業	前年並みとなっている	前年を下回っている	↘
輸出	増加している	増加している	→

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、引き続き持ち直していくことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりなどに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる」

スーパー販売は、内食需要が引き続き堅調なことから、主力の食料品などを中心に増加している。コンビニエンスストア販売は、足下の感染者数の増加を受けて、持ち直しのテンポが緩やかになっている。ドラッグストア販売は、衛生用品や食料品などが引き続き堅調であるほか、新規出店効果もあって、増加している。百貨店販売は、入店客数が減少していることから、足踏みの状況にある。家電大型専門店販売は、テレビやパソコンなどを中心に増加している。ホームセンター販売は、園芸用品やDIY用品が引き続き堅調であることから、増加している。乗用車販売は、新型車効果等により持ち直している。旅行取扱高は、依然として厳しい状況が続いている。

(主なヒアリング結果)

- 外食自粛による内食需要の高まりが継続しており売上が堅調に推移。自宅でのプチ贅沢として国産牛肉などが購入されている。(スーパー、中小企業)
- 大阪にまん延防止等重点措置が適用された4月上旬あたりから感染リスクを懸念して、入店客数が減少している。(百貨店、大企業)
- 新型車効果やレジャー、マイカー通勤の需要が増加しており、受注は伸びているものの、生産が受注に追い付いておらず、納車待ちが増えている。(乗用車、中堅企業)
- 緊急事態宣言の解除により、東京や大阪からの観光客が戻りつつあったが、まん延防止等重点措置の適用により再び減少している。名古屋市に同措置が適用され、更に落ち込むのではないかと懸念している。(経済団体)
- 感染者数の増加もあり、外食を避ける動きがあるため、4月に入ってからでは週を追うごとに状況が悪くなっている。まん延防止等重点措置を受けて時短営業となると、ますます厳しくなる。(飲食サービス、中堅企業)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している」

自動車関連は、一部に弱い動きがみられるものの、国内外の需要回復を受け高水準で推移している。オートバイは、輸出向けを中心に持ち直している。航空機体部品は、海外航空機メーカーが大幅に減産したことから、悪化している。金属工作機械は、海外受注が増加していることから、生産は持ち直している。半導体集積回路は、持ち直しの動きがみられる。液晶は、弱含んでいる。プラグは、増加の動きに一服感がみられる。開閉機器、電動機ともに、緩やかに回復している。普通鋼、特殊鋼ともに、増加している。

- コロナ禍にあってもコンスタントに投入している新型車が好調であることから、国内や海外の需要は堅調である。これまでは大きな減産をすることなく、半導体不足の影響を比較的抑えることができたが、今後の生産への影響を懸念している。(輸送機械、大企業)
- 半導体不足により自動車メーカーが生産調整していることから受注が減少しており、昨年末と比べると足下では生産が落ち着いている。(電気機械、大企業)
- 主力の自動車向けの需要が旺盛であることから出荷が非常に好調であり、在庫を積み増すほどの余裕がない状況となっている。(鉄鋼、大企業)
- 中国からの受注が引き続き増加しており、また、業種別では半導体製造装置向けが好調となっていることから、足下の生産レベルが上がっている。(生産用機械、大企業)
- データセンター向けが堅調であるほか、スマートフォン向けの需要が戻りつつあることから、需給バランスが改善傾向にある。(電子部品・デバイス、大企業)

■ 雇用情勢 「一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている」

輸送用機械などで引き続き求人が緩やかに増加していることから、有効求人倍率は下げ止まっているものの、全体では弱い動きが続いている。なお、完全失業率は低水準である。

- 生産レベルの回復に伴い、残業時間が増加しているほか、期間工の新規募集を行っている。(輸送用機械、大企業)
- 自動車生産の回復に伴い、他工場から人材を受け入れているほか、航空機関連産業からの受入れも行っている。(輸送用機械、大企業)
- 緊急事態宣言の再発令に伴い、宿泊業や飲食サービス業の求人が再び減少したものの、自動車産業を中心に戻っており、全体の求人に与える影響は限定的であった。(労働局)
- 感染拡大による営業時間短縮により、現場での人員が少なく済むようになっているものの、催事の際には既存の社員で対応し、短期アルバイトの採用を抑制するようにしている。(百貨店、大企業)
- 感染症の影響で人員に過剰感のあるテナントが多いものの、収束後を見据えて、雇用調整助成金の活用により人員を維持している企業が多い。(不動産、中堅企業)

■ **設備投資** 「2年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、情報通信機器などが増加となるものの、輸送用機械などが減少となることから、減少見込みとなっている。
- 非製造業では、建設やサービスが減少となるものの、運輸などが増加となることから、増加見込みとなっている。

➤ 新技術の研究開発等、必要な分野への投資は継続して行う必要があるものの、感染症による先行き不透明感などから、不要不急の投資の先送りを行っている。(輸送用機械、大企業)

■ **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、情報通信機器などが増益となるものの、輸送用機械や生産用機械などが減益となることから、減益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸が赤字となることや卸・小売などが減益となることから、減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 景況判断BSIでみると、全産業の現状判断は、輸送用機械が「下降」超に転じたことや、サービスや卸・小売の「下降」超幅が拡大したことなどから、「下降」超に転じている。また、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「弱い動きとなっている」

- 貸家、分譲住宅が引き続き減少していることなどから、弱い動きとなっている。

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、県は増加しているものの、市町村、独立行政法人等が減少していることなどから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「増加している」

- 輸出(円ベース)は、自動車関連を中心に増加している。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

■ **企業倒産** 「件数は前年を下回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(3年1月判断)	今回(3年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
愛知県	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	➡	個人消費は感染症の影響により、サービス消費を中心に持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
静岡県	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	➡	個人消費は、感染症の影響により、観光地への入込及び宿泊客数が弱含んでおり、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、自動車関連において減産の動きがみられるものの、電気機械などを中心に着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は、弱い動きが続いている。
岐阜県	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	➡	個人消費は感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
三重県	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるなか、生産活動でも持ち直しの動きに一服感がみられることから、全体でも持ち直しの動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直しの動きがみられる	➡	個人消費は、感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっており、生産活動は持ち直しの動きがみられる。こうしたなか、雇用情勢は、弱い動きが続いている。